

関係各位

岐阜県森林研究所長

平成21年度第1回岐阜県森林研究所研究・成果発表会の開催について

日頃は、当所の試験研究業務の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当所では、下記のとおり研究・成果発表会を開催します。つきましては、多くの方に参加いただくとともに、関係者へお知らせいただきますようご案内申し上げます。

記

1. 開催日時および場所

日時：平成21年7月14日（火曜日）13：30～16：00（開場 13：00）

場所：中濃総合庁舎5階大会議室

〒501-3756 岐阜県美濃市生櫛 1612-2 TEL(0575)33-4011

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/common/facility/map005.htm>

2. 発表内容

フェロモンを利用したカシノナガキクイムシの防除(大橋章博)

集合フェロモンを使ってカシノナガキクイムシを大量に誘引し防除する試みを始めましたので、その効果について紹介します。

ナラ枯れ跡地の更新にニホンジカが与える影響(大洞智宏)

ニホンジカの食害が発生する地域でナラ枯れが発生した場合の森林更新について観察しましたので、その結果を発表します。

ナラ枯れ被害木を用いたキノコ栽培の可能性(上辻久敏)

ナラ枯れで枯死した木には、健全な木にはない変色域が認められます。この枯死した木が健全な木と同じように食用キノコの栽培に利用可能なのかについては明らかではありません。そこで、きのこの栽培について試験を行いましたので結果を紹介します。

原木栽培におけるヒラタケ白こぶ病の発生とネット被覆による防除(水谷和人)

野外で発生したヒラタケには、ヒダに白いこぶ状の組織が生じることがあり、「ヒラタケ白こぶ病」と呼ばれます。そこで、県内3ヶ所でヒラタケ原木栽培を行い、本病の発生の有無や発生時期、ネット被覆による防除効果を調査しましたので結果を紹介します。

作業路の開設指針図の作成(古川邦明)

作業路を開設する位置を決めるにあたって、谷の集水面積や下流域への影響を判断する際に参考となる図面を作成しましたので、この指針図の活用方法について紹介します。

3. 参加料及び定員：無料、150人

4. 参加申し込み期限：7月8日

5. 申し込み及び問い合わせ先

岐阜県森林研究所 水谷嘉宏、田中伸治

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代 1128-1

TEL:0575-33-2585、FAX:0575-33-2584

E-mail: info@forest.rd.pref.gifu.jp